

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '幼保一体化推進事業 (施設整備)' and '子育て支援及び少子化対策'.

Table (1) 事務事業の概要. Columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details for childcare facility operations.

Table (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. Columns: ①手段, ②対象, ③意図, ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes data for facility counts and costs from 2015 to 2030.

Table (3) 投入量 (事業費) の推移. Columns: 26年度 (実績), 27年度 (実績), 28年度 (計画), 29年度 (目標), 30年度 (目標), 期間限定総投入量. Includes breakdown by source (国庫, 県, 市) and personnel costs.

Table (4) 当該年度の実施内容. Columns: 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes a list of expenses (11-18) and their amounts.

Table (5) 当該年度の実施内容 (Implementation Details). Includes a note: '※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する' and a list of main activities: 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	幼保一体化推進事業（施設整備）	事務事業No.	20201000955	所属課	児童福祉課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	父母の就労状況の多様化による保育時間の延長等や、幼児教育の等の要望の多様化により、入所率の減少に伴い経費の割高化により要望への対応を見送る状況となっており、特に公立幼稚園については、入所率が50パーセントを割っている現状である。このことを踏まえ、全施設の老朽化による今後の修繕等に掛かる施設管理費も増大する事が考えられことから、平成27年4月施行の子ども子育て支援法での認定こども園に移行する事で、保育・教育の質と利便性の向上を図るために実施する事業です。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	保護者アンケートでも、大和地区の保護者は認定こども園に賛成が90、7パーセントであり、移行に賛同している結果となっているが、一部の方からは、通園バスの利用についての不安な声も聞かれた。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	平成27年4月から施行される子ども子育て支援法で、教育と保育を一体で行う認定こども園が推奨されており、これに伴い、施設の統廃合により管理費の削減に繋がる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	7施設が公立の保育所・幼稚園として運営している。当市も定住促進として、住みよいまちづくりとして公立の施設を認定こども園に移行する。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	成果の向上を図るための計画で、最適な手段です。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	事業の運営に影響がある
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒	<input type="checkbox"/> 余地がない	他に類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	施設整備に必要な事業費であり、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	利用者の利便性の向上が目的であり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	幼保一体の工事を3カ所進めたが、児童や園児を預かっている中での工事であり、安全面を十分に配慮して実施した。大きな音が出る工事については、土・日曜日に行うようにした。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																							
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果	-																							
コスト削減優先度評価結果	-																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認 平成28年4月に認定こども園が3園開設した。今後は、各園で必要な整備や修繕を行う。